



夏の図書館特別講座

「シャーロック・ホームズ物語」の楽しみ

「シャーロック・ホームズ」といえば、誰もが認める世界中の人々から一番愛されている探偵です。作者コナン・ドイルが1887年11月に「緋色の研究」を発表して以降、4つの長編と短編56作品が世に出され、これら60作品は「正典（キャンオン）」と呼ばれ、「シャーロキアン」と呼ばれる世界中のホームズ愛好者が生まれるほど、長い間、読み継がれてきました。

今回、日本のシャーロック・ホームズ研究の第一人者をお招きし、ホームズはじめ、様々なキャラクターが躍動する、物語の魅力をたっぷり語っていただきます。

講師 東山あかね氏

（日本シャーロック・ホームズ・クラブ主宰者）

<主な著作>

◆単著

2016年 『シャーロック・ホームズと歩く』（青土社）

◆小林司氏との共著・共訳

1993年 『シャーロック・ホームズ全集』全9巻（河出書房新社）

2001年 『シャーロック・ホームズ大事典』（東京堂出版）

2012年 『図説 シャーロック・ホームズ』（河出書房新社）

2024年 『名探偵シャーロック・ホームズ』全12巻（金の星社）ほか多数

日時 9月6日(日)14:00～15:30

場所 鶴岡市立図書館2階講座室

申込 8月18日(火)～

問合せ 鶴岡市立図書館(25-2525)

